

## 1、活動の概要

『今こそ変革の時』としてスピード感覚を持って18年度も活動してきたが、以下に示すように

新たな改革に向けての道筋と引き続いての議会の制度改革がなされた。

今後は前期の反省を踏まえたうえで、今任期4年の仕上げとして折り返しの2年を、市議会の

責任会派として強いリーダーシップを発揮し、より具体的な政策提言とその実現に向け、さらに

自治基本条例の目指す精神を尊重し自らも律する議会改革に臨むこととしたい。

## 2、18年度活動目標に対する活動成果

活動テーマ	18年度活動目標	18年度活動成果
1、行財政改革の推進	・行財政改革調査研究のための議会委員会を立ち上げ、行政評価について審査・提言を行う	・行財政改革検討委員会設立を提案し11月に成立、研究活動が開始された。 引き続き19年度は4常任委員会での具体的な活動に移ることが決まっており、行政評価の審査から議会としての行財政改革が進む。これらの道筋を的確にする活動が出来た。
2、地域自治組織の検討	・19年春の自治組織導入に向け、財政支援と行政支援が確実に実行される事を確実にする	・公民館関係費の交付金参入拡大を主張し、十分とはいえないが、自治組織交付金の確保に会派の考え方を反映させた。 今後はスタートしたまちづくり委員会の実情を見極め、地域自治組織の権限と責任についてさらに深めたい。
3、合併後の新市構想の推進	・12月成立の基本構想・基本計画に具体的な課題として盛り込む	・環境文化都市の理念を恒久理念として明確にした。さらに都市宣言も提案実現させた。施策ごとの検討の中でまちづくりの方向を示すことが出来た。
4、住民自治基本条例への取り組み	・9月制定に向けた支援を行う	・積極的に条文内容について提案し、十分に審議を尽くす事により、議会による条例施行の意義を尽くせた。
5、議会改革の取り組み	・議会のあり方を更に研究するための委員会を設立し、求められる議会の課題の抽出、議員定数についても検討を進める	・新年度委員会設立に向け議会改革の道筋をつけた。 ・政務調査費と透明化と議会質問に新たなルールとして時間案分方式導入を確立した
6、会派ホームページ	・議会会派活動情報の提供を行い情報公開	・ホームページの開設を8月に行う。

ジ の開設	に努める	会派独自の考え方、情報の提供を毎月2回程度の更新を行い実施中。今後は更新回数と内容を充実させることが課題。
----------	------	---

以上